

2019年3月期 第3四半期 決算説明資料

2019年2月15日



(証券コード:7183)

 **あんしん保証株式会社**
ANSHIN GUARANTOR SERVICE CO., LTD.



1

第3四半期決算概要

2

通期計画に対する進捗状況

3

各種指標

4

2019年3月期取り組み

1.第3四半期決算概要(1)

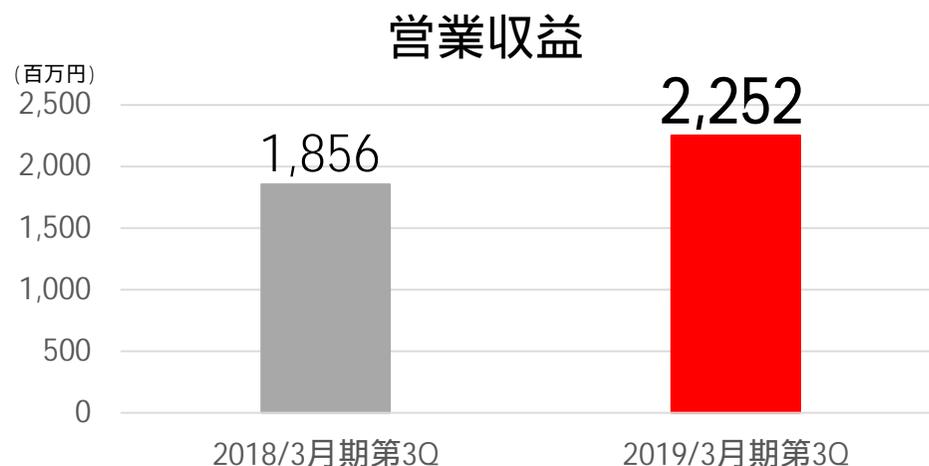


営業収益

22億52百万円

前年同期比 21.3%増 ↗

(+395百万円)

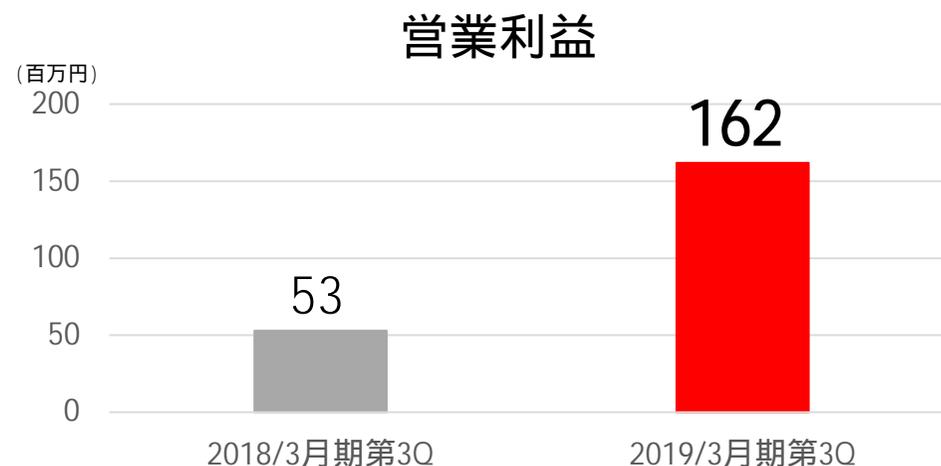


営業利益

162百万円

前年同期比 202.0%増 ↗

(+108百万円)



1.第3四半期決算概要(2)

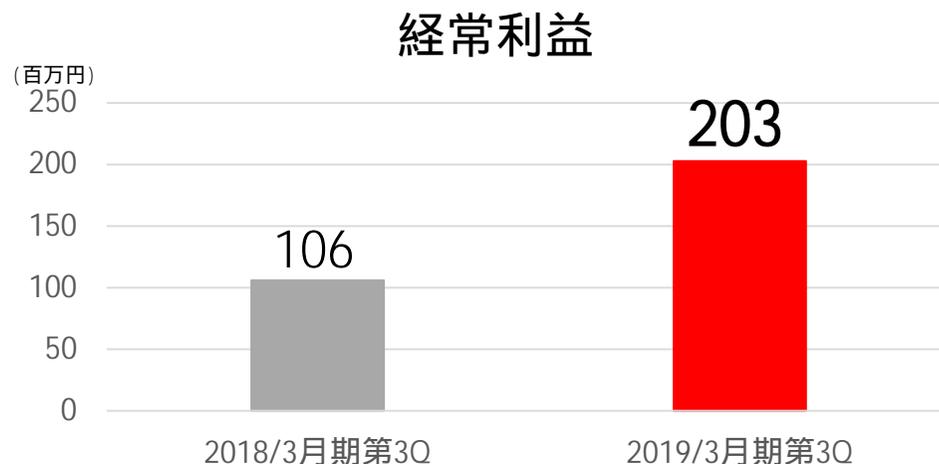


經常利益

203百万円

前年同期比 91.6%増 ↗

(+97百万円)

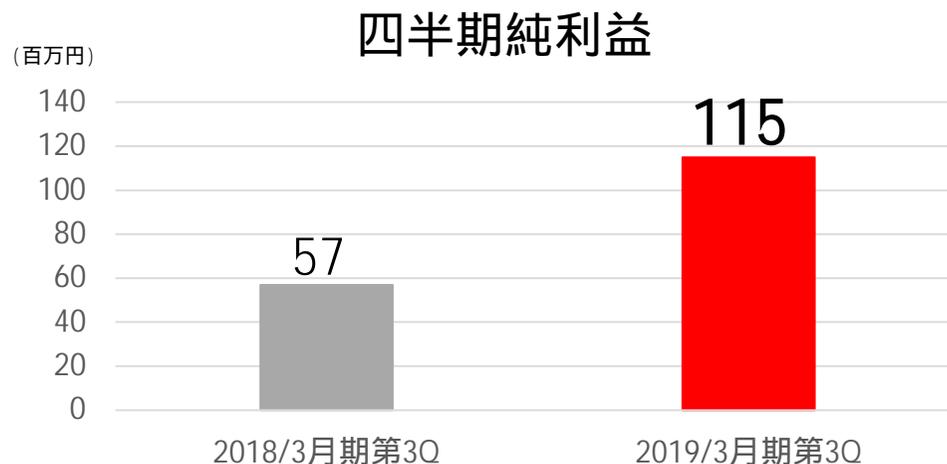


四半期純利益

115百万円

前年同期比 100.2%増 ↗

(+57百万円)



1.第3四半期決算概要(3)



単位 百万円	18/3月期 (3Q実績)	19/3月期 (3Q実績)	前年同期比 増減	前年同期比 増減率
営業収益 (売上高)	1,856	2,252	395	21.3%
営業利益	53	162	108	202.0%
経常利益	106	203	97	91.6%
四半期純利益	57	115	57	100.2%
1株当たり 四半期純利益	3.20円	6.41円	-	-

<< 第3四半期実績は対前年同期比で増収増益 >>

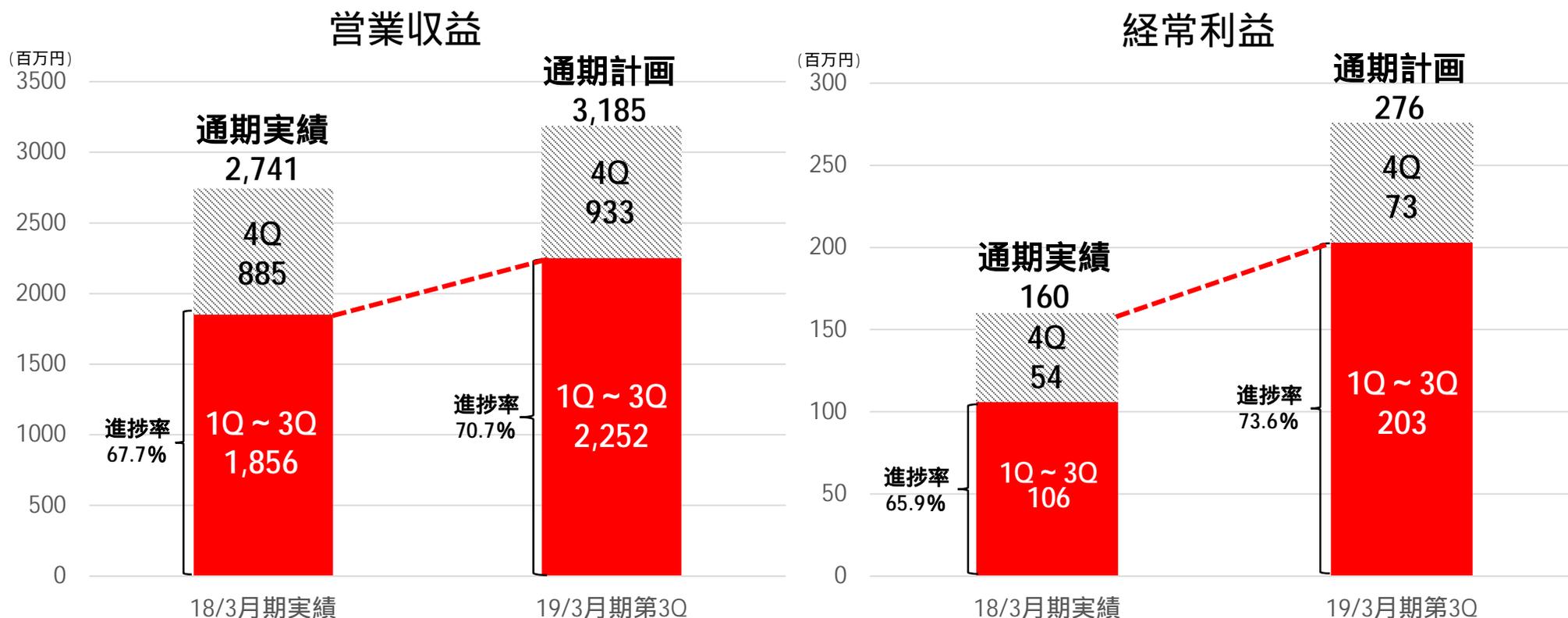
- ・新規成約件数は前年同期比13.8%増加、保証件数は前年同期比10.9%増加
- ・新規成約・保証件数の増加により、営業収益は前年同期比21.3%増加
- ・保証件数の増加により、支払手数料は前年同期比34.1%増加
- ・新システムのリリースに伴い減価償却費は前年同期比164.7%増加
- ・以上の結果、営業利益は前年同期比202.0%、経常利益は前年同期比91.6%の増加

2. 通期計画に対する進捗状況(1)



単位:百万円	18/3月期 (実績)	19/3月期 (通期計画)	19/3月期 (3Q実績)	19/3月期 (通期計画対比)
営業収益 (売上高)	2,741	3,185	2,252	70.7%
営業利益	89	240	162	67.9%
経常利益	160	276	203	73.6%
当期(四半期) 純利益	96	172	115	66.7%
1株当たり 四半期純利益	-	-	6.41円	-

2. 通期計画に対する進捗状況(2)



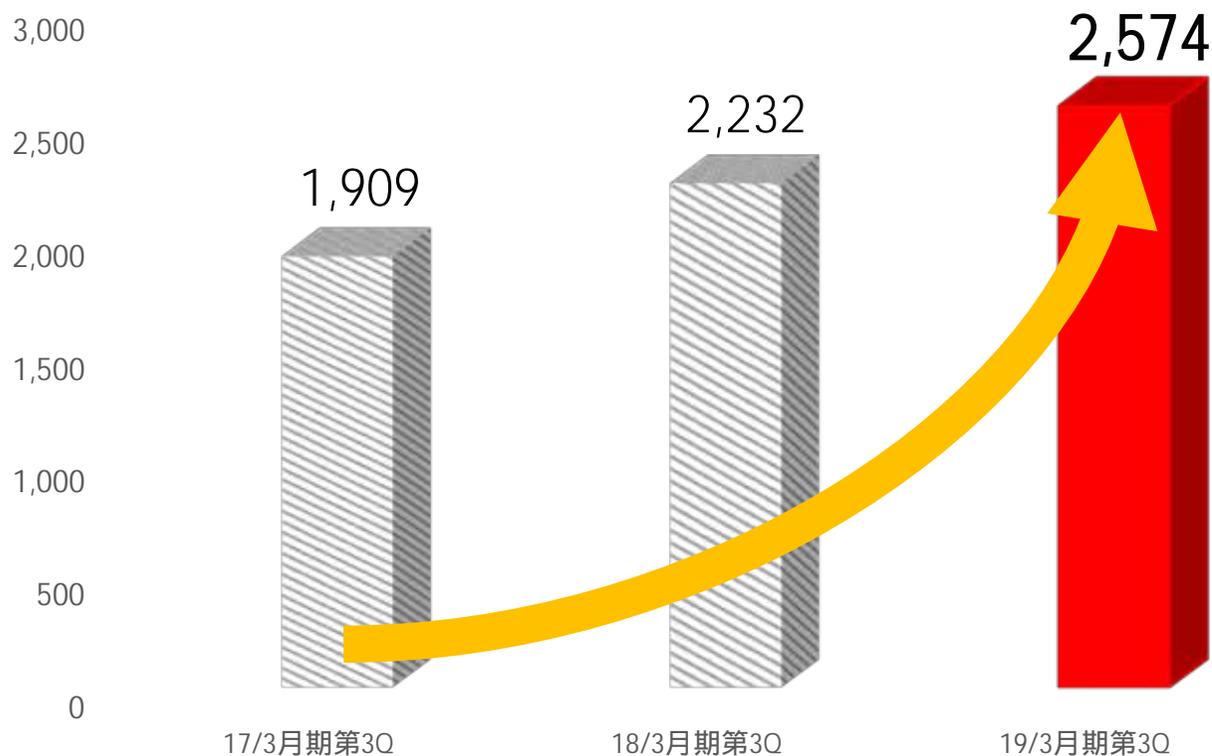
- ・営業収益の進捗率は70.7%、前年同期の進捗率67.7%を上回る水準で堅調に推移。
- ・経常利益の進捗率は73.6%、前年同期の進捗率65.9%を上回る水準で堅調に推移。

3. 各種指標(1)-加盟店開拓の進捗-



幅広いニーズに対応するための商品多様化戦略の推進により
加盟店契約数は引き続き堅調に推移

加盟店契約数(単位:件)

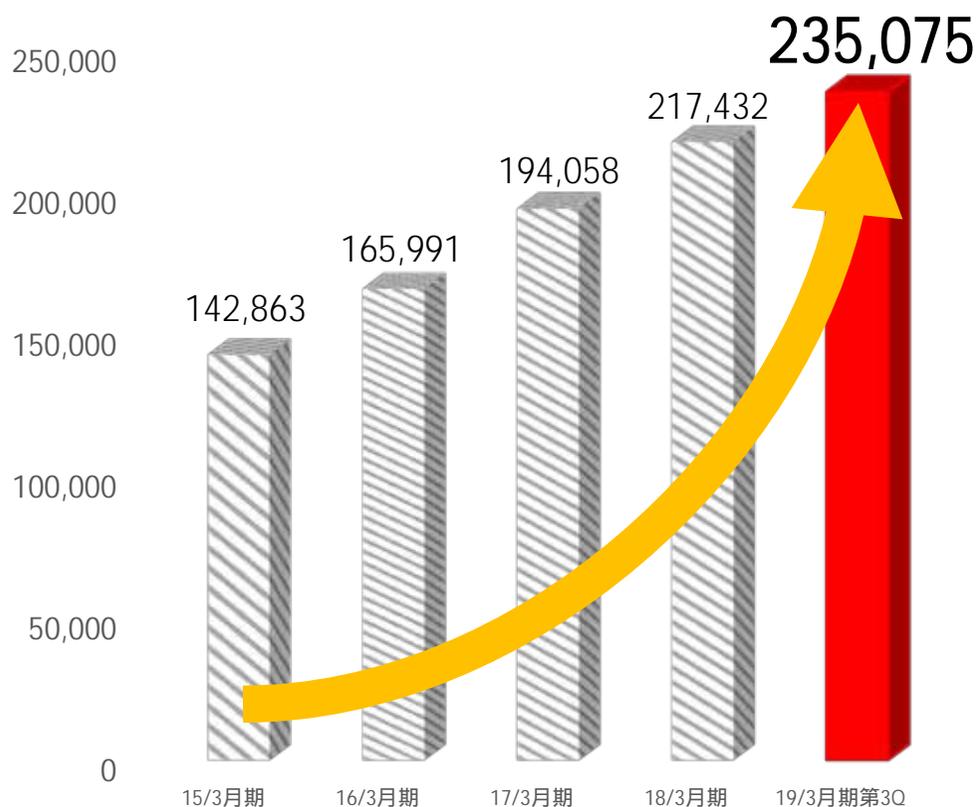


3. 各種指標(2)-保証件数・保証残高の推移-

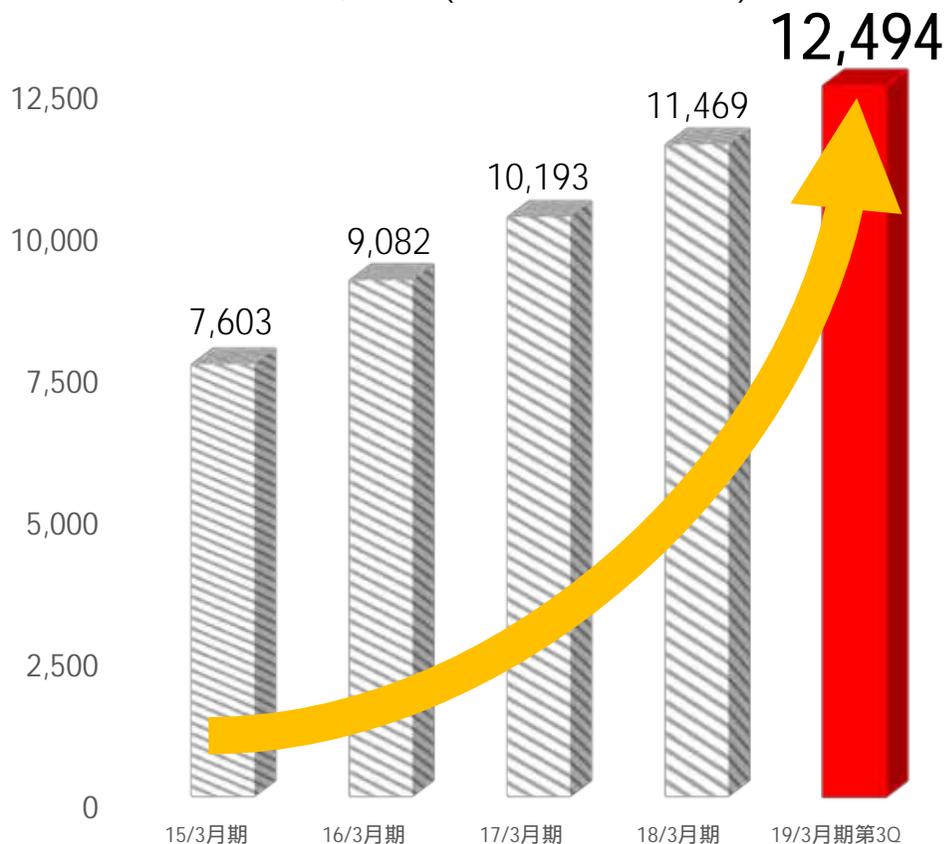


自社保証商品、アライアンス商品の拡販が堅調に伸びたことで、保証件数の成長は引き続き堅調に推移

保証件数(単位:件)



保証残高(単位:百万円)

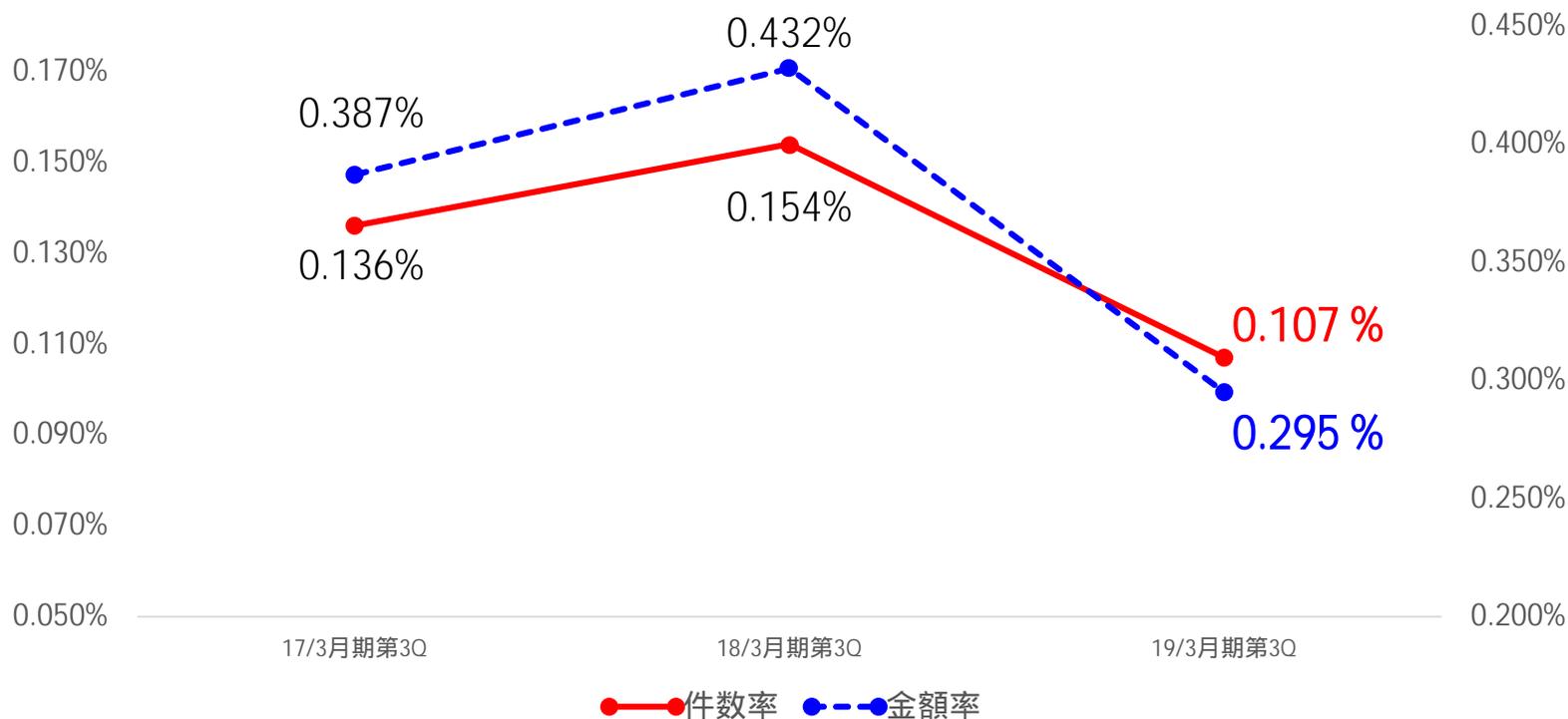


3. 各種指標(3)-回収関連の推移-



代位弁済発生率は良化傾向で求償債権発生抑制に寄与

代位弁済発生件数率・金額率



求償債権残高の90%超(2019/3月期第3Q現在)を占めるライフあんしんプラスの回収指標

代位弁済発生件数率・金額率

ライフあんしんプラスの総保証件数・残高の内、一定期間の未収発生により、当社からライフカードへ代位弁済を行なった件数・金額の発生率(代位弁済を行うことで当社の求償債権として計上されます)

3. 各種指標(4)-財務指標-



流動比率229.3%、自己資本比率61.9%
保証会社として健全な水準を堅持

単位(百万円)

資産		負債	
流動資産	2,879	流動負債	1,255
		短期借入金	800
収納代行立替金	1,456		
固定資産	468	固定負債	12
有形固定資産	10	純資産	
無形固定資産	315	純資産	2,079
投資その他の資産	142		
資産合計	3,348	負債・純資産合計	3,348

- ・ 自社立替商品の伸びにより、収納代行立替金が増加
- ・ 収納代行立替金の増加に伴う立替資金の調達により短期借入金が増加
- ・ 期中の平均調達コストは年利1.13%



2019年3月期重点施策

トップライン成長率の向上
に向けた成長戦略の
再構築

求償債権の低位
安定化に向けた
各種施策の推進

人財の更なる能力開発の
促進による早期戦力化

コンプライアンス体制の
再構築



第3四半期までの取り組み状況

トップライン成長率 の向上に向けた 成長戦略の 再構築

- ・ブランド戦略による認知度向上施策の推進
- ・未開拓の賃貸マーケットへの参入開始
- ・大手不動産管理会社との継続交渉
- ・アライアンス企業と連携した繁忙期申込向上施策の推進

求償債権の低位 安定化に向けた 各種施策の推進

- ・回収システムの機能拡張による業務効率の向上
- ・弁護士との連携強化、訴訟手続きによる法的回収の強化による解決率向上施策の推進
- ・与信基準の適時見直しによる与信精度向上



第3四半期までの取り組み状況

人財の更なる能力
開発の促進による
早期戦力化

- ・管理職研修の推進による人財育成能力の向上
- ・実務に即した新入社員向けOJT教育の導入
- ・所属部署に応じたスキル向上勉強会の実施
- ・社内、社外研修結果に基づく個人別目標の設定

コンプライアンス
体制の再構築

- ・個人情報保護の取扱いに関する勉強会や理解度確認テストの実施
- ・重要情報管理体制の強化
- ・インサイダー取引防止勉強会の定期実施

決算説明資料に関する注意事項

本資料は、経営戦略等に関する情報提供を目的とし、当社の今後の見通しや計画等の記述がなされております。現状で入手できる情報に基づき作成しておりますので、本資料で記述していることが経済状況等により、異なる結果に至る可能性を含んでおります。

また、本資料で記載されている当社以外の情報は、公開されている内容から引用したものであり、その正確性について当社が保証するものではありません。